

学会だより

春季年会の開催と講演の申込について

今春の年会は、東京都府中市市民会館（京王線府中駅北口下車、徒歩5分）において、5月13日（火）から5月15日（木）の3日間開催の予定です。今回も講演発表は2会場併行で行われます。春季年会のプログラムは4月20日発行の天文月報5月号に掲載されます。

講演申込みは「〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 東京天文台内 日本天文学会年会係」あてに封筒の表に「講演申込書在中」と朱筆の上3月24日（月）までに必着するよう規定の申込用紙を用いてお送り下さい。

又、今回より post dead-line papers も受付けることとします。勿論これは、単に講演の締切日に間に合わなかったものではなく、IAU Circularに掲載されるような緊急性・トピックス性に富んだものに限定し、年会直前まで受付けたいと思います。

尚、講演申込み用紙の分野の分類（用紙の裏面にあり）に続けて、プログラム編成のため、内容を最もよく表すキーワードを御記入下さい（例：恒星（内部振動）のように）。

申込み用紙は、支部理事にまとめて送ってありますので希望者は返信料60円切手を同封し、封筒の表に「申込用紙請求」と朱書の上、下記の理事へお申出下さい。

北海道：兼古 昇 〒060 札幌市北十条西八丁目

北海道大学物理学教室

水 沢：真鍋盛二 〒023 水沢市星が丘町 2-12

緯度観測所

仙 台：土佐 誠 〒980 仙台市荒巻字青葉

東北大学理学部天文学教室

東 京：近藤雅之 〒181 三鷹市大沢 2-21-1

東京天文台

名古屋：花輪知幸 〒464 名古屋市千種区不老町

名古屋大学理学部物理学教室

京 都：大谷 浩 〒606 京都市左京区北白川追分町

京都大学理学部宇宙物理学教室

中国・四国：村田俊一 〒783 高知県南国市物部字新

開乙 200-1 高知工業高等専門学校

九 州：上西啓祐 〒860 熊本市黒髪 2-39-1

熊本大学理学部物理学教室

◇講演申込者で、年会出席旅費の補助を希望される方は、支部理事を通じて、3月24日（月）までに必着するよう「東京天文台内 日本天文学会理事長」あてに申し込んで下さい。但し申込みのできる人は、2月末日までに60年度会費納入済みの人で、原則として、連名の場合でもスピーカーであり、正式の給与を受けていない人（大学

院生など）に限ります。

◇講演申込み・発表に際しては、特に次の事項を厳守して下さい。

1. 講演内容は完成度の高い研究とする。
2. 講演は1人1回に限る。
3. スピーカーを発表者の筆頭に書くこと。
4. ビラは使用禁止、スライドまたはオーバーヘッドプロジェクターの使用に限る。

◇旅館については各自で直接に申し込んで下さい。

◇年会中に集会等のため、会議室の利用を希望される方は、前もって、庶務理事まで御連絡下さい。可能な限り手配したいと思います。

ハレー彗星特別企画

76年ぶりのハレー彗星の回帰に因んで、春季年会において、一般講演とは別にハレー彗星に関する催しを計画中です。具体的には年会期間3日間にわたる「ポスター展示」と5月13日18時～20時に開催する「対話と講演の集い」を考えています。

これらは彗星の観測者、研究者だけが対象ではなく、日本天文学会の掲げる目的のひとつ、天文学普及の意味をふくめ、会員諸兄弟や一般市民の広い参加を想定して立案、構成するつもりです。

ハレー彗星の観測は、世界はもちろん日本に限っても、過去すべての彗星のなかで、もっとも広範また詳細に行なわれています。今回の企画はいままで得られたデータや考察を持ち寄って観測の状況を明らかにし今後の種々の研究に至る展望を開くことが最大の目的であります。

ポスター展示には諸氏の写真や観測記録の発表を募ります。彗星の観測的研究の資料になるものを歓迎します。個々には、ばらばらな記録であっても並べて比較すると重要な事実を発見できた例が過去にいくつもありました。したがってあまりに個人的な記録はさけるとして、完全、不完全は問いません。必要な基礎データだけは詳しく記載して下さい。

講演については年会の通常の講演と重複して発表されることも想定しております。

ポスター展示への参加の申込は、現在も観測や分析が進行中なことを考慮しなるべく年会直前まで受付けたいと考えております。具体的内容は月報4月号でお知らせいたします。（庶務理事）